

FAX通信



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

21. 8. 11
週報第 849 号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第31週 (8/2~8/8)	
	発生人数 (前週人数)	前週との比較
RSウイルス	27 (46)	↓
溶連菌咽頭炎	5 (7)	↓
感染性胃腸炎	3 (3)	→
咽頭結膜熱	1 (0)	↑
突発性発疹	0 (2)	↓

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況

第30週 (7/26~8/1)

<全県の発生状況>

- 1位: RSウイルス感染症
(全県で前週より35%減少)
- 2位: 感染性胃腸炎
(全県で前週より1.1倍に増加)
- 3位: 溶連菌咽頭炎
(全県で前週より1.3倍に増加)
- 4位: ヘルパンギーナ
- 5位: 突発性発しん

県内 警報・注意報

警報・注意報はありません

横手地域・学校欠席者情報 (8/10)

疾患名	おたふく	感染性胃腸炎	RSウイルス	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	咽頭結膜熱	その他
施設 (数)								
保育所・園 (35)			10			1		2
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校 (7)								
特別支援学校								

夏休み中

感染症情報収集システムより (人)

夏に流行しやすい

ヘルパンギーナ

原因

エンテロウイルスが原因の、夏かぜのひとつです。
エンテロウイルスには数種類あるので、型が違えば感染を繰り返す場合があります。

症状

突然の高熱とともにのどが痛くなります。
口の中に水疱ができ、痛むため、飲食ができなくて脱水症状を引き起こすこともあります。



経過

感染してから症状が出るまでは2~5日。
2~4日で症状が治まってきて、1週間ほどで回復しますが、まれに無菌性髄膜炎等の合併症を引き起こすことがあります。
頭痛、嘔吐等のある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

予防

接触感染に対しての、手洗いが大事です。
回復後も2~4週間は、便などからウイルスが排出されますので、特に便の処理には気をつけましょう。